

令和6年度(2024年度) 障害者虐待対応状況調査結果の詳細

養護者による障害者虐待の概要(県内)

1 通報者について

通報者の内訳 ※重複あり

相談・通報者	件数(割合)
本人	44件(26. 0%)
家族・親族	12件(7. 1%)
近隣住民・知人	1件(0. 6%)
医療機関関係者	10件(5. 9%)
相談支援専門員	20件(11. 8%)
施設・事業所の職員	20件(11. 8%)
警察	43件(25. 5%)
市町村行政職員	10件(5. 9%)
介護保険法に基づく居宅サービス事業等従事者等	3件(1. 8%)
その他	5件(3. 0%)
不明(匿名含む)	1件(0. 6%)

2 被虐待者について

①虐待の類型 ※重複あり

類型	件数(割合)
身体的虐待	15件(53. 6%)
性的虐待	3件(10. 7%)
心理的虐待	5件(17. 9%)
放棄・放置(ネグレクト)	3件(10. 7%)
経済的虐待	2件(7. 1%)

②被虐待者の性別

性別	人数(割合)
男性	7人(28. 0%)
女性	18人(72. 0%)
不明	0人(0. 0%)

③被虐待者の障がい種別 ※重複あり

障がい種別	人数(割合)
身体障がい	4人(12. 9%)
知的障がい	9人(29. 0%)
精神障がい (発達障がいを除く)	13人(42. 0%)
発達障がい	4人(12. 9%)
難病	1人(3. 2%)
その他	0人(0. 0%)

④被虐待者の障害支援区分

※ 障害支援区分…
障害者に対し必要とされる標準的な支援の度合いを表す区分。

区分	人数(割合)
区分1	0人(0. 0%)
区分2	3人(12. 0%)
区分3	1人(4. 0%)
区分4	1人(4. 0%)
区分5	1人(4. 0%)
区分6	1人(4. 0%)
区分なし	18人(72. 0%)
不明	0人(0. 0%)

⑤被虐待者の年齢

年齢	人数(割合)
～17歳	0人(0. 0%)
18歳、19歳	2人(8. 0%)
20歳～29歳	7人(28. 0%)
30歳～39歳	3人(12. 0%)
40歳～49歳	5人(20. 0%)
50歳～59歳	4人(16. 0%)
60歳～64歳	1人(4. 0%)
65歳以上	3人(12. 0%)
不明	0人(0. 0%)

養護者による障害者虐待の概要(県内)

3 虐待者について

①被虐待者からみた虐待者の続柄

続柄	人数(割合)
父	10人(37.1%)
母	5人(18.5%)
夫	5人(18.5%)
妻	0人(0.0%)
息子、娘	3人(11.1%)
兄弟、姉妹	2人(7.4%)
その他	2人(7.4%)

②虐待者の性別

性別	人数(割合)
男性	19人(70.4%)
女性	8人(29.6%)
不明	0人(0.0%)

③虐待者の年齢

年齢	人数(割合)
~17歳	0人(0.0%)
18歳~29歳	1人(3.7%)
30歳~39歳	3人(11.1%)
40歳~49歳	6人(22.3%)
50歳~59歳	4人(14.8%)
60歳~64歳	3人(11.1%)
65歳~74歳	5人(18.5%)
75歳以上	4人(14.8%)
不明	1人(3.7%)

4 虐待への対応

①分離の有無

内 容	件数(割合)
被虐待者の保護と虐待者からの分離を行った被虐待者数	9件(36.0%)
被虐待者と虐待者を分離していない被虐待者数 (一度も分離していない被虐待者数)	12件(48.0%)
もともと虐待者とは別居の被虐待者数	1件(4.0%)
その他	3件(12.0%)

②分離を行った事例の対応

内 容	件数(割合)
契約による障害福祉サービスの利用	5件(55.6%)
身体障害者福祉法又は知的障害者福祉法に基づくやむを得ない事由による措置	0件(0.0%)
上記以外の方法による一時保護	0件(0.0%)
医療機関への一時入院	1件(11.1%)
その他	3件(33.3%)

③分離の有無に関わらず行った対応 ※重複あり

内 容	件数(割合)
養護者に対する助言・指導 (介護負担軽減のための事業に参加した事例を除く)	10件(33.3%)
被虐待者が新たに障害福祉サービスを利用	6件(20.0%)
既に障害福祉サービスを受けているが、サービス等利用計画を見直した	3件(10.0%)
障害福祉サービス以外のサービスを利用	0件(0.0%)
再発防止のための定期的な見守りの実施	11件(36.7%)
その他	0件(0.0%)

障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の概要(県内)

1 通報者について

通報者の内訳 ※重複あり

相談・通報者	件数(割合)
本人	7件(10.6%)
家族・親族	5件(7.6%)
当該施設・事業所の職員 (設置者・管理者等)	30件(45.5%)
当該施設・事業所元職員	1件(1.5%)
他の施設・事業所の職員	2件(3.0%)
当該市町村行政職員	9件(13.6%)
警察	1件(1.5%)
その他	6件(9.1%)
不明(匿名含む)	5件(7.6%)

2 虐待の事実が認められた事例

①虐待の類型 ※重複あり

類型	件数(割合)
身体的虐待	10件(55.5%)
性的虐待	1件(5.6%)
心理的虐待	5件(27.7%)
放棄・放置(ネグレクト)	1件(5.6%)
経済的虐待	1件(5.6%)

②被虐待者の性別

性別	人数(割合)
男性	31人(91.2%)
女性	3人(8.8%)
不明	0人(0.0%)

③被虐待者の障がい種別 ※重複あり

障がい種別	人数(割合)
身体障がい	7人(17.1%)
知的障がい	18人(43.9%)
不明	16人(39.0%)

④被虐待者の障害支援区分

区分	人数(割合)
区分1	0人(0.0%)
区分2	0人(0.0%)
区分3	0人(0.0%)
区分4	2人(5.9%)
区分5	2人(5.9%)
区分6	14人(41.2%)
区分なし	0人(0.0%)
不明	16人(47.0%)

⑤被虐待者の年齢

年齢	人数(割合)
~17歳	0人(0.0%)
18歳、19歳	1人(2.9%)
20歳~29歳	2人(5.9%)
30歳~39歳	3人(8.8%)
40歳~49歳	2人(5.9%)
50歳~59歳	4人(11.8%)
60歳~64歳	2人(5.9%)
65歳以上	7人(20.6%)
不明	13人(38.2%)

⑥虐待のあった施設・事業所の種別

	障害者支援施設	療養介護	生活介護	共同生活援助
件数(割合)	7件(58.4%)	1件(8.3%)	3件(25.0%)	1件(8.3%)

障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の概要(県内)

通報件数

61 件

虐待判断件数

12 件

確認調査

事例	虐待の類型	被虐待者の障がい種別・人数	虐待の内容	虐待があつた施設の種別	虐待者の職種	虐待に対して採つた措置
1	身体的虐待	知的障がい(1人)	職員が利用者の額を複数回にわたつて平手で叩くなどした。	共同生活援助	生活支援員	施設・事業所等に対する指導
2	身体的虐待	知的障がい(1人)	職員が利用者の頭を殴った。	生活介護	生活支援員	施設・事業所等から改善計画の提出
3	身体的虐待	身体障がい、知的障がい(1人)	職員が利用者の左頬を平手打ちした。	療養介護	生活支援員	施設・事業所等から改善計画の提出
4	身体的虐待 心理的虐待	身体障がい、知的障がい(2人)	職員が利用者の嫌がる行為を繰り返し行った。	生活介護	生活支援員	施設・事業所等に対する指導
5	経済的虐待	身体障がい、知的障がい(4人) 知的障がい(6人)	職員が施設で預かっている利用者の金銭を窃取した。	生活介護	生活支援員	施設・事業所等から改善計画の提出
6	身体的虐待	知的障がい(1人)	職員が利用者の顔を手で叩く等を行つた。	障害者支援施設	生活支援員	施設・事業所等から改善計画の提出

障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の概要(県内)

事例	虐待の類型	被虐待者の障がい種別・人数	虐待の内容	虐待があつた施設の種別	虐待者の職種	虐待に対して採つた措置
7	身体的虐待 心理的虐待	不明(1人)	・職員が利用者に対する威圧的な言動が常態化していた。 ・職員が利用者にビンタをした。	障害者支援施設	・看護職員 ・生活支援員	障害者総合支援法に基づく改善勧告
8	身体的虐待 性的虐待 心理的虐待	不明(13人)	・職員が利用者の顔を殴った。 ・職員が利用者の胸元を掴み上げた。	障害者支援施設	・サービス管理責任者 ・生活支援員	障害者総合支援法に基づく改善勧告
9	身体的虐待	知的障がい(1人)	職員が利用者に対し、はさみをさすような行為を行つた。	障害者支援施設	生活支援員	虐待を行つた障害者福祉施設従事者への注意・指導
10	身体的虐待	知的障がい(1人)	・職員が利用者の座っている椅子をひっくり返し、利用者が転倒する。 ・その後、利用者がソファに座り、職員が利用者の手をつかんで立ち上がらせるが、利用者が拒否したため、そのままソファに突き飛ばした。	障害者支援施設	生活支援員	虐待を行つた障害者福祉施設従事者への注意・指導
11	心理的虐待 放棄、放置	不明(1人)	職員が、利用者に必要な支援を行わず、また、暴言を吐く。	障害者支援施設	特定できず	障害者総合支援法に基づく改善勧告
12	身体的虐待 心理的虐待	不明(1人)	・職員が膝で利用者の体を抑えつける等を行つた。 ・嫌がっている利用者に無理やり行つた。	障害者支援施設	・生活支援員 ・児童指導員	障害者総合支援法に基づく改善勧告